2013 年8月 23 日
東経連ビジネスセンター

PRESS RELEASE

新事業開発･アライアンス助成事業の新規採択について

東経連ビジネスセンター※は、新事業開発・アライアンス助成事業において、６件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、支援申し込みは随時ホームページで受け付けており、４半期毎に、採択審査・決定予定です。

※ （一社）東北経済連合会が平成 23 年４月に設立した東北地域の産学連携等の支援や、企業のマーケティング、知的財産等の事業化支援を行う支援センターです。

記

■テ　ー　マ：アーク放電による新規ダイヤモンドコーティング装置の開発
・支　援　先：アルバック東北㈱、八戸工業高等専門学校　齊藤貴之准教授
■テ　ー　マ：冷凍棒寿司の再冷凍時の老化防止法の研究
・支　援　先：㈱ディメール、（有）こむぎ工房、東北大学大学院農学研究科　藤井智幸教授
■テ　ー　マ：メカジキマグロを原料とした機能性動物性繊維の開発
・支　援　先：（有）オイカワデニム、宮城県産業技術総合センター
■テ　ー　マ：食用油酸化抑制装置『カラット君』の酸化抑制機能を向上させる新たな電極の開発
・支　援　先：㈱コムコム、東北大学未来科学技術共同研究センター未来情報産業研館　大見忠弘館長、後藤哲也准教授
■テ　ー　マ：秋田白神こだま酵母を利用した新しいドレッシングの開発
・支　援　先：ヤマカノ醸造㈱、秋田県総合食品研究センター
■テ　ー　マ：甘草による家畜の免疫賦活作用による疾病の予防
・支　援　先：㈱田村薬草農場グループ、NOSAI 宮城、北里大学獣医学部大動物内科、日本全薬工業㈱

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター　西山、小杉、竹内
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
（一般社団法人　東北経済連合会　事務局内）
Tel. 022-225-8561　Fax. 022-262-7055　http://tokeiren-bc.jp/

＜参　考１＞

■テ　ー　マ：アーク放電による新規ダイヤモンドコーティング装置の開発
・支　援　先：アルバック東北（株）、八戸工業高等専門学校　齊藤貴之准教授
・支援先概要：アルバック東北（株）（青森県八戸市、代表取締役社長　加藤丈夫、昭和 62 年設立、資本金 4 億 9,800 万円、従業員 346 名）
・担当支援専門家：佐々木伸一　事業化コーディネーター
・内　　容：八戸工業高等専門学校の齊藤准教授が持つ、従来にはないアーク放電によるダイヤモンド生成技術を用いて、安価に短時間で工具等の表面にダイヤモンドコーティングする装置の開発を行う。従来の高温高圧法等に比べて、安全かつ大幅に短い時間でコーティングできるため、工具製造のコストを削減することが期待される。

■テ　ー　マ：冷凍棒寿司の再冷凍時の老化防止法の研究
・支　援　先：㈱ディメール、（有）こむぎ工房、東北大学大学院農学研究科　藤井智幸教授
・支援先概要：㈱ディメール（青森県八戸市、代表取締役社長　神子澤忠二、平成 17 年設立、資本金 6,550 万円、従業員 120 名）
（有）こむぎ工房（平成 15 年設立、資本金 1,500 万円、従業員 3 名）
・担当支援専門家：市田淳治　事業化コーディネーター
・内　　容：冷凍棒寿司の再冷凍後の品質保持や美味しさの維持、再冷凍回数の延長などの研究・開発を行う。再冷凍に適した寿司米飯用米品種を見出すことができれば、米の利用拡大とともに原材料コストの低減が期待される。

■テ　ー　マ：メカジキマグロを原料とした機能性動物性繊維の開発
・支　援　先：（有）オイカワデニム、宮城県産業技術総合センター
・支援先概要：（有）オイカワデニム（宮城県気仙沼市、代表取締役社長　及川秀子、昭和 56 年設立、資本金 500 万円、従業員 23 名）
・担当支援専門家：鈴木康夫　事業化コーディネーター
・内　　容：これまで廃棄されていたメカジキマグロのツノから動物性繊維を抽出し、衣料用糸に加工するための量産化手法の確立と、その特長を最大限活かした新しい用途開発を行う。津波被災地の気仙沼市は日本一のメカジキマグロ水揚高を誇り、宮城県産業技術総合センターとの共同開発により被災地の支援と廃棄物リサイクルという大きな課題に取り組む。

■テ　ー　マ：食用油酸化抑制装置『カラット君』の酸化抑制機能を向上させる新たな電極の開発
・支　援　先：（株）コムコム、東北大学未来科学技術共同研究センター未来情報産業研館　大見忠弘館長、後藤哲也准教授
・支援先概要：（株）コムコム（宮城県仙台市、代表取締役　田原誠、昭和 59 年設立、資本金 1,000 万円、従業員 5 名）
・担当支援専門家：神崎裕次　事業化コーディネーター
・内　　容：（株）コムコムが製造・販売する、食用油劣化抑制装置「カラット君」の性能向上に向けた新たな技術開発を東北大学と共同で行う。東北大学が保有する特殊金属の皮膜技術を用いて、従来の電極に比べてエネルギー効率の高い食用油の酸化抑制効果を高める新たな電極開発に挑む。

■テ　ー　マ：秋田白神こだま酵母を利用した新しいドレッシングの開発

・支　援　先：ヤマカノ醸造（株）、秋田県総合食品研究センター

・支援先概要：ヤマカノ醸造（株）（宮城県登米市、代表取締役社長　鈴木彦衛、昭和 34 年設立、資本金 4,500 万円、従業員 60 名）

・担当支援専門家：鈴木紳　事業化コーディネーター

・内　　容：植物性旨味調味料であり、なおかつ保存性資材である秋田白神こだま酵母を利用した豆乳発酵液をベースに、その高い保存機能を活かした、低食塩ドレッシングを新しく開発する。

■テ　ー　マ：甘草による家畜の免疫賦活作用による疾病の予防

・支　援　先：（株）田村薬草農場グループ、NOSAI 宮城、北里大学獣医学部大動物内科、日本全薬工業（株）

・支援先概要：（株）田村薬草農場グループ（福島県相馬郡新地町、代表取締役社長　田村勝男、平成 15 年設立、資本金 10 百万円、従業員 5 名）

日本全薬工業（株）（昭和 21 年設立、資本金 1 億 7,000 万円、従業員 718 名）

・担当支援専門家：沖津修　技術評価チーム・フェロー

・内　　容：甘草使用による家畜実証試験データを得ることにより、牛や豚のストレス軽減や免疫活性化効果を明らかにする。これにより、従来牛や豚に与えていた抗生物質、ホルモン剤などの使用を抑制することができ、食肉の安全性が高まることが期待される。

＜参　考２＞

◇過去の支援案件の紹介

No.	助成先	所在地	支援テーマ	研究期間
1	㈲ハード工業	青森県八戸市	高速燃焼流を用いる金属粉末の製造技術と装置の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東北大学金属材料研究所	宮城県仙台市		
2	㈱コンド電機	福島県浅川町	２人乗り電気自動車の開発	平成 23 年 7 月～平成 24 年 6 月
	東洋システム㈱	福島県いわき市		
3	秋田県産業技術センター	秋田県秋田市	WC-SiC 基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発	平成 23 年 10 月～平成 24 年 9 月
	㈱東洋ドリル	秋田県羽後町		
4	大堀相馬焼協同組合	福島県浪江町	大堀相馬焼における代替材料及び新規デザインの開発	平成 23 年 11 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
5	㈱鈴木酒造店	福島県浪江町	山廃酒母からの有用微生物の分離選択と新商品開発	平成 23 年 11 月～平成 24 年 9 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県会津若松市		
6	㈱宮城化成	宮城県栗原市	光透性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発	平成 23 年 11 月～平成 24 年 9 月
	産業技術総合研究所東北センター	宮城県仙台市		
7	東北文化学園大学	宮城県仙台市	特殊濾材を利用した放射能除染機及び濾材カートリッジの開発	平成 23 年 11 月～平成 24 年 9 月
	㈱アイワ・コーポ	福島県郡山市		
	㈱リアルトリート	福島県石川町		
	暮らしの科学研究所㈱	福島県郡山市		
8	会津大学	福島県会津若松市	群れ引率制御による水田除草システムのための移動機構の開発	平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月
	玉川エンジニアリング㈱	福島県会津若松市		
	㈱メカテック	福島県喜多方市		
	㈱北日本金型工業	福島県会津若松市		
9	㈱弘前機械開発	青森県田舎館村	バーチャルスライド装置高速化に向けた微振動性新装置の開発	平成 24 年 3 月～平成 25 年 2 月
	八戸工業大学	青森県八戸市		
10	㈱カサイ	新潟県新潟市	局所的土壌除染技術システムの開発・実証	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	長岡技術科学大学	新潟県長岡市		
11	㈱東和	福島県本宮市	着用快適性に優れた防刃用衣料素材の開発	平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月
	福島県ハイテクプラザ	福島県郡山市		
12	石巻自動車関連集積部会	宮城県石巻市	香り長持ちインテリジェント芳香器	平成 24 年 7 月～平成 25 年 6 月
	㈱モリス			
	石巻専修大学			
13	あおもり藍産業協同組合	青森県青森市	青森独自の染料化技術を核とする「あおもり藍」ブランド商品の開発、製造	平成 24 年 11 月～平成 25 年 9 月
	大和科学工業㈱	東京都江戸川区		
	青森県産業技術センター工業総合研究所	青森県青森市		
14	㈱パルメソ	新潟県長岡市	高効率発電用機器構造部材の微視損傷検出装置	平成 24 年 9 月～平成 25 年 9 月
	東北大学大学院工学研究科	宮城県仙台市		
15	㈱クラーロ	青森県弘前市	低消費電力型顕微鏡用高輝度照明の開発	平成 24 年 9 月～平成 25 年 9 月
	㈱テクニカル			
16	㈱さんのう	宮城県仙台市	高性能な温調機能を持つ塗料の開発	平成 24 年 1 月～平成 25 年 12 月
	仙台高等専門学校	宮城県名取市		
	㈱TS 塗装技術研究所	宮城県利府町		
17	理研食品㈱	宮城県多賀城市	海草麺の開発と商品化	平成 25 年
	宮城県産業技術総合センター	宮城県仙台市		

＜参　考３＞

新事業開発・アライアンス助成事業の概要

１．目的

本事業は、新技術の開発に向けて、東北７県（新潟を含む）に所在する会社が、産学連携などのアライアンスにより他団体と取り組む共同開発に対して、100 万円の助成を行い、東北地域の企業の競争力を強化することを目的としています。当センターの助成は、研究段階を終了し、新技術開発後の事業化や実用化を目的にした開発試作を対象にしております。

２．応募資格

（１）企業の要件

以下の全ての要件を満たすこと

・代表開発者は、主たる事業拠点を東北７県（新潟を含む）に置き、自ら技術開発と事業化を行う会社であることここでいう会社とは、会社法で定める会社を指す。

・１社単独での研究ではなく、共同研究先が１団体以上あることここでいう共同研究先とは、企業、大学等の研究機関、公設試験研究機関などを指す

（２）開発技術の要件

以下の要件を概ね満たすこと

① 自社が保有する新規性・独創性のある技術であること

② 大学等、他の団体が保有する技術シーズを活用する場合には、本技術開発における利活用方法、アプリケーション等が新規性・独創性を持っていること

③ 食品等、生体に関わるシーズについては、その有効性、安全性等が、公的機関等により科学的に証明されていること

④ 類似の技術がある場合には、相対的にその技術の性能が大きく優れていること

⑤ アプリケーションの明確化が図られており、１年後に実用化の見込みがある技術であること。ここでいう実用化とは、量産の開始、量産試作品・プロトタイプの開発終了、技術供与の開始、サービス提供の開始などを指す

⑥ その技術の実用化により、東北７県（新潟を含む）に所在する応募企業の収益向上が大きく期待できること

⑦ 自社のみの利益に止まらず、東北７県（新潟を含む）の産業の発展や公共の利益に寄与すること

⑧ 東北７県（新潟を含む）の経済的・社会的発展や、そこに住む人々のモチベーション向上の喚起が期待できるような、話題性のある技術開発であること

⑨ 東日本大震災からの復興に資する技術開発であること

３．助成金額

100 万円を限度とする。

４． 研究成果の帰属

本助成事業の実施により発生した知的財産権は申請者に帰属することができる。

５. 募集および審査

通年で募集します。審査および助成の決定は、原則として四半期毎に、年４回行います。

以上